

# 14. 思いやりの心を共に育む“共育”

## たなばたハートクラブ



【所在地】一宮市平和2-11-3  
【TEL】090-9228-8056  
【URL】<https://tanabata-heart138.amebownd.com>

### 【事業内容】

一宮市を拠点にイベントやインターネットでヘルプマークの理解を深める活動を実施。



大事にしている  
SDGsのゴール



## ヘルプマークを広めるために

愛知県では2018年からヘルプマークの配布をしています。しかし、私たちがヘルプマークの知識を深めないと、ヘルプマークを見てもどんな行動をすればいいのかわかりません。あなたは、ヘルプマークの裏面に連絡先や症状、体調を崩したときにして欲しいことが書いてあることが多いのを知っていますか。たなばたハートクラブでは、イベントでの音楽・ダンスや子どもでも簡単に楽しめる神経衰弱などのゲーム、ペットボトルのキャップを溶かして入れたキーホルダーなどのハンドメイドの販売などの様々な活動で、病気や障害の当事者への理解を深める活動と共にヘルプマークの啓発活動をしています。

また、インターネット上での活動もしています。YouTubeでは2022年にインターネットラジオ「138にじいろ放送局」（通称：いちにじ）を開局し福祉の情報を発信したり、たなばたハートクラブで作った音楽の配信をしたりしています。X（旧Twitter）では、たな

ばたハートクラブが参加するイベントの情報を発信しています。さらにメールで福祉に関する悩み、体験談、意見を募集しています。

## 福祉のこれから

たなばたハートクラブは今、ヘルプマークを知ること、当事者の生の声を聞くこと、自分自身も様々な病気や障害をいずれ抱えるものと捉え、いざという時にどうするか考えることを目的とした、共に育む“共育プロジェクト”を立ち上げ、これを学校や企業、地域に導入することを目指しています。

社会をよくして福祉に繋げるためには、先にそこで生活する人がよい状態になる必要があります。障害や病気の当事者の目線で考え、愛情や優しさを与えることが必要で、障害や病気の人々が生活しやすい社会を作るために彼らのことを否定せずに認め合うことが大切だと、たなばたハートクラブは様々な活動で人々に伝えています。

## 2030年に向けた意気込み

障害や病気の当事者と健常者が共に仲良く協力しながら知恵と心を育めるようにヘルプマークを普及する基礎をつくりまします！！

## 一宮南高等学校2年5組



今回の取材を通して、ヘルプマークは導入するだけではなく、多くの人々の理解が必要であることを知りました。